「５回のサラー（礼拝）、金曜のサラーから金曜のサラー、ラマダーンからラマダーンは、その間の罪滅ぼしである。ただし、大罪を避ける限りにおいてだが。」

アブー・フライラ（アッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（アッラーからの祝福と平安あれ）は、こう言った： 「５回のサラー（礼拝）、金曜のサラー から金曜のサラー、ラマダーンからラマダーンは、その間の罪滅ぼしである。ただし、大罪を避ける限りにおいてだが。」 [صحيح] [رواه مسلم]

預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は、伝えている。毎昼夜の5回の義務のサラー、毎週の金曜のサラー、毎年のラマダーン月のサウム（断食）は、その間の小さな罪の贖罪となるのだ、と。ただしそれは、大罪を回避する限りにおいてのことである。 なお、姦通、飲酒といった大罪は、タウバ（悔悟）をもってでしか贖罪とすることはできない。

http://www.sunnah.global/hadeeth/ja/show/3591